

同志社国文学

第 93 号

藤原忠通の句題詩とその背景……………柳 川 響 (1)
——保延五年六月四日の作文会を中心に——

書くことで報いる……………平 石 岳 (13)
——徳富蘆花「寄生木」の劇化とその方法——

有島武郎の童話における創作態度……………芦 野 陽 子 (25)
——翻案童話「燕と王子」の成立をめぐる——

横光利一「春は馬車に乗って」……………中 村 梨恵子 (36)
——作品と新感覚的表徴の融和——

〈資料紹介〉「壬生地蔵縁起絵巻」注釈 (一)……………八 木 智 生 (49)

〈資料紹介〉翻刻 『潤色江戸紫』 (下)……………翻 刻 の 会 (61)

2020・12

同志社大学国文学会